

# 琉球大学学術リポジトリ

## 被服材料の選び方

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村田, 治子, Murata, Haruko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19816">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19816</a>

# 被服材料の選び方

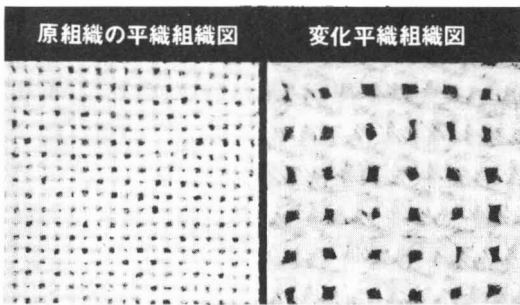
被服を製作しようとする場合や、既成品を求める場合、その他、仕立直し、修善などに際しても、どのような被服にはどのような材料を用いれば良いかを考える必要がある。被服材料を選定する因子は、性別、年齢、職業、流行、各個人の身体つき、肌の色、好み、等々挙げられましようが、ここでは用途別による自然科学的な面を取り上げて検討する。

## A 織組織

被服材料の性質を決める二大因子には、その材料を構成している繊維の性質と織組織とが挙げられる。織組織とは布の織り方のことで、同種の繊維でも織り方のちがいによって被服材料としての性質が異なり、その上、外観、感触をも変える。

織り方の基本的なものは、平織組織、綾織組織、朱子組織、の三つでこれらを三元組織と呼ぶ。その他、変化平織、変化綾織、変化朱子織、特別組織等があるが、三元組織の特徴を、それぞれ述べる。

### 1) 平織組織



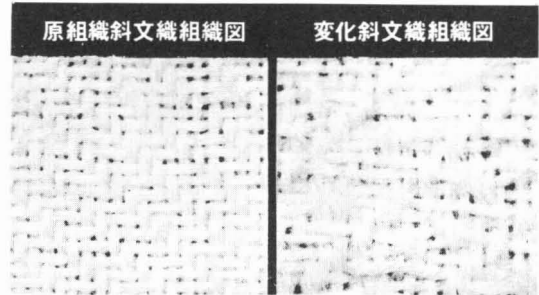
織物の最も原始的、基本的な組織で、経糸と緯糸とがどちらの方向にも必ず一本おきに上下している。

平織は次のような特徴を持っている。

- △ 最も簡単な組織である。
- △ 経、緯、糸の組合わせが多いので最も堅牢な組織である。
- △ 組織としては簡単であるが、糸の原料繊維、糸の撚り、糸の太さ、糸の色、糸密度、仕上げ方などにより変化を出して数多い品種がある。

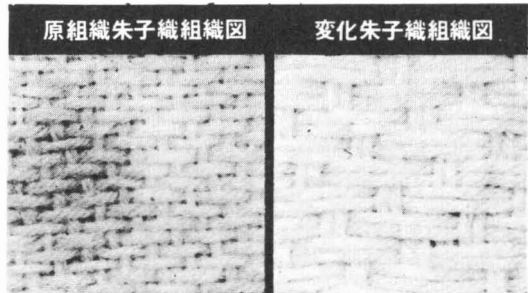
\* 繊維の性質については前回に述べている

### 2) 綾織組織 (斜文組織)



表面に斜の綾が現われる綾の線が左下から右上に走る方向を布の表側とする。綾の趣によって色々変った効果を布面に表わすことができる。

### 3) 朱子組織



経糸か緯糸のどちらか一方が一面に長く浮いて布面を覆う組織である。即ち、糸の上下する部分が少ない。

- △ 朱子組織は、絹物に特に多い。
- △ 他の織り方がない光沢と柔らかい感触がある。
- △ 毛羽立ち易く汚れ易く、堅牢度も低い。

(ブロードは朱子織に模様を浮き織したものの、又は、他の織り方に模様を朱子織にしたもの。)

## 三元 (原) 組織とそれぞれに属する織物名

### 平織組織

- ①糸の原料繊維による変化……平羽二重(絹)、人平(人絹)細布(綿)、麻上布(苧麻)、トロピカル(毛)、フジエツト(人絹・スフ)

- ②燃糸の使用、燃回数、燃方の種類による変化……ラジウム・シルク（甘燃糸）、ボイル（中位の燃）、フラット・クレプ（強燃・緯糸）、オリエンタル・クレプ（強燃・経糸）、ジョーゼット・クレプ（強燃糸・経緯）、壁クレプ（壁燃糸）
- ③糸の太さによる変化……オーガンジー（極細糸）、ズック（極太糸）、ポプリン（緯糸に太糸・経糸に細糸）
- ④色系による変化……玉虫タフタ、シャングレイ（経緯に異色の染色を用いる）、縞銘仙、縞塩瀬（経に晒糸と染糸、を用いる）、格子タフタ、ギンガム、ガンクラブ・チェック（経緯に晒糸と染糸・又は異色の染色を用いる）
- ⑤緋糸、又は捺染糸による変化……久留米緋、解し銘仙、併用銘仙、クレトン
- ⑥金属糸による変化……ラメー、錦
- ⑦節糸による変化……シャンタン、節織
- ⑧糸の密度による変化……チーズ・クロス、寒冷紗（疎）、ブロードクロス（密）、ピッケ・ボイル（疎と密の混合）
- ⑨仕上げ方による変化……シホン、ニノン、モアーレ、ブリゼー・クレプ、リンネット、チンツ、エパーグレース、
- ⑩張力の違う2組の経糸による変化……サッカー、

#### 斜文（綾織）組織

サージ、ギャバジン、セル、カルゼ（一本綾）、ダイヤモンド、バスケット、ベネシャン（変化斜文）、トルコチン（変化斜文）、

#### 朱子組織

サテン、綸子、段子、ダマスク、タンタンピース、チンチウ、ビーパー、ペロア、プロテカール、プロケード、

### B 被服材料の選定

#### 1) 肌 着

白地か、それに近いもので洗濯に耐える材料が望ましい。綿縮み、晒天竺、キャラコ、綿メリヤス等。吸湿性の少ないナイロンなどは身体の水分の調節ができないので衛生的には良くない。又、厚地で密な材料では身動きが苦しくなる。毛羽立った材料（毛製品など）は皮膚を刺激するので乳児の肌着には綿ネル、タオル、ガーゼなどの綿製品が良い。

#### 2) 平 常 着

摩擦、引張り、に強く、皺になりにくく、湿気や日光に耐久性のあることが望ましい。サージ・ギャバジン、トロピカル、

フラノ、ツイード、その他、化繊混紡布、樹脂加工布なども良い。

#### 3) 労働着、作業着

摩擦、引張り、に強く、汚れにくいもの（汚れても洗濯によく耐えるもの）が望ましい。仕事の種類によっては、厚地で密な織物が望まれ、又、材料が難燃性で化学薬品に強いことも必要となる。綿織物では、デニム、コールテン、綿ギャバジンなど。その他、ビニロンを混紡したデニム、サージなども良い。なお、かっぽう着、実験着、手術着、などのように特に強い外力のかからない上っ張り類には汚れが目立ち易く、洗濯のよき材料、キャラコ、天竺等が望ましい。その他合成繊維のビニロン、テトロン、なども用いられ始めている。

#### 4) 乳 児 服

特に注意することは、乳児の肌を荒らさないように柔らかい材料を用い、吸湿性や、保温性のある材料を選ぶ。ガーゼ、タオル、綿ネル等が望ましい。毛織物は柔らかくても、繊維が肌を刺激するので、肌に触れる部分には用いない方が良い。

#### 5) おむつ、おむつカバー

おむつは乳児の肌着と考えられるので4)のような注意も要する。更に水分を吸収し易いことが必要で、特に頻繁に洗濯するもので、その上、尿はかなりアルカリ性が強いので、普通は柔らかい小幅綿織物が主に使用されている。おむつカバーについては、布地に防水加工を施したものが、ゴムやビニールのフィルムを別に当てたものよりも肌ざわりが柔らかく、通気性の面からも良い。

#### 6) 防 寒 着

保温性に富むことが最も必要で、通気性が少なくて、暖められた空気をよく保つような材料で、しかも余り密でなく、厚めの材料が良い。毛織物のツイード、ペロア、クレパネット、ベネシャン、捲縮したステープルによる合成繊維の混紡物、革や毛皮等有る。

#### 8) 防 雨 着

完全防水にはゴム引布や、ビニールフィルムが最も効果が大きいですが、通気性がほとんど全く無いためにむれる。通気性を持つ防水布としては、密な織物に撥水加工、又は疎水加工をしたものが良い。木綿、絹、ナイロン、ギャバジン、等がある。

（むらた はるこ）